

「マンガで考える “みんなのキモチ” これって、いじめ？」

授業展開例【4】(45分)

テーマ	「いっしょに帰らないとだめ？」(4巻『放課後・休日』より)	市原市立石塚小学校 5年1組・2組 下大澤翔吾先生 2025年6月13日
-----	-------------------------------	--

題材の選定の理由

- ・学年やクラスの中に、いわゆる“カースト”のような構造が見え隠れし、クラス替え以降、意見の強い子に「流される」傾向のある児童がいることが気になっていた。
- ・そこで今回の授業では、「自分は流されやすい人なのか、それとも流されにくい人なのか」「そのことが自分や周囲にどのような影響を与えるのか」「現在のクラスにはどのような雰囲気があるのか」を見つめ直す機会になればと思い、この題材を選択した。

授業内容

- ①自分は「流されやすい人か、流されにくい人か」アンケートをとる
- ②マンガを大型TVに映しながら見せる
- ③感想を伝え合う
- ④カケルは何に困っているのか考える
- ⑤主人公はこのあと、どのようにすれば良いか考える
- ⑥授業での学びを共有する



授業の様子

- ・授業の導入では、「自分は流されやすい人か、流されにくい人か」というアンケートをとり、クラスの実態を把握した。両クラスともに回答が散らばり、クラスの多様な傾向を捉えるうえで非常に有効だったと感じている。
- ・マンガの導入では、大型TVに映して紹介するにとどまったが、1コマずつが小さいため、次回からはマンガのページを拡大コピーして配布するなど、視認性を高める工夫が必要だと感じた。
- ・④の場面では、主人公のモヤモヤした気持ちについて、児童たちは物語の流れをよく理解し、「逆らいつらい空気感」があることを感じ取っていた。
- ・⑤の場面では、初めは多くの児童が悩みながら考えを出していたが、「主人公以外の人はどう思っているのだろう？」という問いを投げかけることで、アイデアが生まれるきっかけとなった。「うまくやり過ぎず」といった考えは一部に見られたものの、「周囲をうまく巻き込む」といった視点はどちらのクラスからも出てこなかった。この点については、教師からの補足や発問によって引き出す工夫が必要だったと感じている。
- ・⑥の振り返りの感想(写真)からは、自分自身の傾向について見つめ直している児童も見られ、今回の学習のねらいを捉えることができたと感じている。



振り返りの感想

